



音楽になった動物たち

先月の話ですが、「新緑のどうぶつえん音楽会」を開催しました。

2012年より始まってミニコンサートも含めると今年で5回目のどうぶつえん音楽会。今回は記念すべき第1回目で演奏してくれたひたちジュニア弦楽合奏団の子供たちがまたやって来てくれました。



高校生の5人衆。この中の3人は2012年にも動物園で演奏してくれました。当時は中学生でしたが4年もたつとすっかり大人の顔に。感慨深し。皆成長してるな～。

さていよいよ始まりました！

「さんぽ」や「アイアイ」などよく耳にする曲が素敵なバイオリンの音色で奏でられます。



動物園で行う演奏会、実は音楽から動物への興味を示すきっかけになったらいいなという担当者の意図が隠されています。

音楽と動物、ぱっと聞いただけでは何の関係も無いように思えますがじつは意外と繋がりがあるんですよ。

今回は「音楽になった動物の本当の姿は？」というテーマで飼育員にお話をしてもらいました。



<ゾウについてお話する大内飼育員>

これは誰もが知っている「ぞうさん」の曲を弾いた後、実際にアジアゾウを担当している大内飼育員にお話してもらっているところ。

ぞ～うさん ぞ～うさん お～はなが長いのね～

とお馴染みの歌詞。ゾウは鼻が長いというのは誰もが知っている事ですが、じゃあこの鼻の役割は？そして鼻の中身ってどうなっているの？

大人の方でも知らない方が多いんですよ。



今回の会場ではゾウの骨格標本があったので、長い鼻の秘密を解説。
この標本、鼻が無いですね。取り付け忘れたわけではなく始めから無いんですよ。
つまりゾウの鼻には骨がありません。全部筋肉でできています。



<砂を鼻で掴んで背中にかけるゾウ>

水を吸い上げて口に運んだり、小さいものをつまんで食べたり。使い道も様々です。
皆さん長い鼻について初めて知ることが多かったようで「へ～」という声があちこちで聞か

れました。

「ぞうさん」は子供から大人まで誰もが知っている名曲ですが、恐らく「ゾウ」の実態や本当の姿を歌から考えた人は少ないはずです。

動物は音楽に限らず漫画、アニメ、キャラクターなど日常の色んなところで見られます。これらは人間のイメージにより作り出された姿であり、動物への興味をもつきっかけにはなるのですが動物園としては本来の姿を知ってほしいところ。

これをきっかけにお馴染みの音楽に登場する動物たちに興味を持ち本物を見たい、知りたいと思ってくれる人が増えたらいいなあと考えて動物園の音楽会を企画しました。聴いてくれたみなさんには伝わったでしょうか・・・？



<職員も登場！>

さて、音楽会もいよいよフィナーレ！

最後はフルツィングキャットという曲を弾いてもらいました。これはネコたちがフルツィングを踊っているようなイメージの楽しくて軽やかなメロディーなのですが、終盤にイヌが「ワンワン！」と吠えてネコたちが逃げ出すシーンが表現されています。

そこでここは動物園特別バージョンで飼育員がある動物の物真似をしました。



ガオーー！！

「ライオン」になってみました。

大きな声でびっくりしたかな？

最後はジュニア弦楽合奏団も飼育員もお客さんも笑顔で終わる事が出来たのでした。

これからも「音楽と動物」を繋ぐ音楽会を企画していきますので、皆さんもぜひ聴きにいらしてくださいねー！

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)

[平成29年](#)

平成28年

[平成28年12月](#)

[平成28年11月](#)

[平成28年10月](#)

[平成28年9月](#)

[平成28年8月](#)

[平成28年7月](#)

[平成28年6月](#)

[平成28年5月](#)